

編 修 趣 意 書

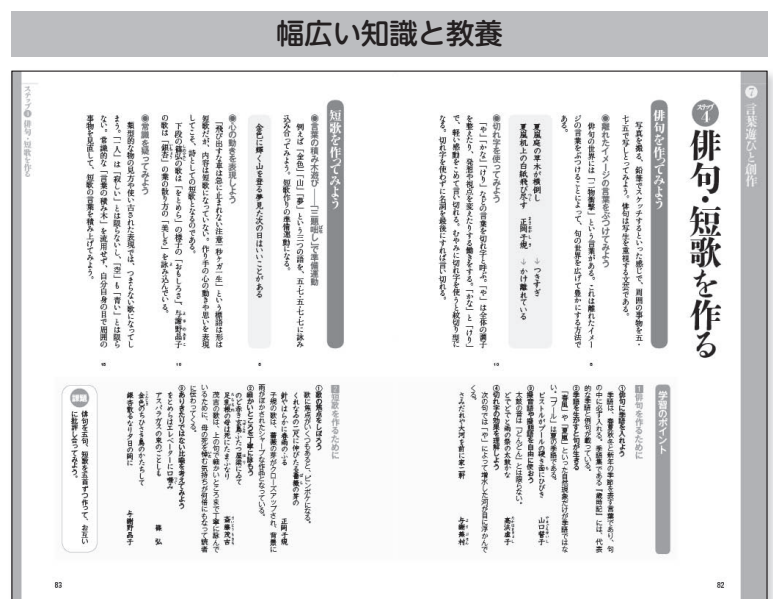
(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-14	高等学校	国語科	国語表現	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国表 306	国語表現 改訂版		

1. 編修の基本方針

本教科書は、**教育基本法第二条に示す教育の目標**および**学習指導要領の目標**を達成するために、次の方針で編修しました。

- 1 表現とコミュニケーションのテーマを広げて、言語や文化についての**幅広い知識と教養**を身に付けられるよう、学習課題を設け、例文集などを提供しました。
- 2 言説の根拠を検証し、他者と対話することなどを通して、**真理を求める態度を養える**よう配慮しました。
- 3 他者を思いやる**豊かな情操と道徳心**を培い、柔軟な言語感覚やユーモアのセンスを磨けるよう教材を配置しました。
- 4 **個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養える**よう、教材選定に配慮するとともに、個人の言語能力の確認・反省から出発して集団での共同作業に至るよう、また自己への関心を社会への関心へと広げていけるよう、教材配列に留意しました。
- 5 自己の進路への関心と関連づけて地域社会の職業生活を取材し、**地域の人々との交流・協働作業をはかり、主体的に社会の形成に参画してゆく態度**を培えるよう配慮しました。
- 6 自主・自律の基本となる自己の意見の形成から始めて、他者の意見との交流を通して世論形成（合意形成）に至るよう、**自他の敬愛と協力を重んじた教材編成**に配慮しました。
- 7 **生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度**、生活に根ざした**伝統と文化を尊重する態度**、**国際社会の平和と発展に寄与する態度**を養えるよう、教材選定に配慮しました。



▲7章ステップ4 俳句・短歌を作る P82-83

自主及び自律の精神

⑧ プレゼンテーションの実際

プレゼンテーションは、自分の考えや意見を相手に伝えるための重要な手段です。効果的なプレゼンテーションを行うためには、事前の準備と練習が不可欠です。

準備段階

- 目的と聴衆の特定
- メッセージの明確化
- 資料の収集と整理
- スライドの作成

実践段階

- 自信を持って話す
- 聴衆との目交差
- 適切なジェスチャー
- 質疑応答への対応

プレゼンテーションは、単に情報を伝えるだけでなく、聴衆の心を動かすことが求められます。練習を重ね、自分の得意なスタイルを見つけてください。

▲9章ステップ2 プレゼンテーションの実際
P104-105

社会の形成に参画する態度

⑥ 地域を知る——インタビュー

地域を知ることは、社会の形成に参画するための第一歩です。インタビューを通じて、地域の現状や課題を把握し、貢献の機会を探しましょう。

インタビューの準備

- 目的と質問の作成
- 対象者の選定
- 場所と時間の確保

インタビューの実施

- 挨拶と自己紹介
- 質問の投げかけ
- 傾聴とメモ
- 感謝の言葉

インタビューは、単なる質問と回答のやり取りではありません。相手の話をしっかりと聞き、共感を持って話を進めましょう。

▲15章ステップ1 地域を知る——インタビュー
P172-173

生命・自然を尊重する態度

⑨ 課題型小論文の実際

課題型小論文は、特定のテーマについて自分の考えを論理的に展開するものです。生命と自然を尊重する態度を表現するには、具体的な事例と深い考察が必要です。

テーマの選定

生命の尊厳、自然環境の保護、動物愛護など、身近な事例からテーマを選びましょう。

構成と展開

- 導入：問題提起
- 本論：事例と論理の展開
- 結論：まとめと提言

論議を深めるためには、多角的な視点からの検討が重要です。生命と自然の大切さを、言葉でしっかりと伝えましょう。

▲10章ステップ3 課題型小論文の実際
P116-117

伝統と文化を尊重する態度

④ 声の変わる

伝統と文化を尊重する態度は、社会の発展を支える重要な要素です。言葉の使い方や話し方を通じて、その態度を表現しましょう。

言葉の選び方

丁寧な言葉遣い、敬語の適切な使用、相手の立場を考慮した表現が大切です。

話し方のポイント

- 声の大きさ
- 話し方のスピード
- 抑揚のつけ方

言葉は、心をつなぐ力があります。伝統と文化を大切にし、それを現代に活かす態度を身につけましょう。

▲4章ステップ2 文字を声に変える
P44-45

国際社会に寄与する態度

⑧ 人の意見を信じる前に、反対の意見を探してみよう

国際社会に寄与するためには、多様な意見を受け入れ、批判的に考える能力が必要です。自分の意見だけでなく、反対の意見を探し、理解を深めましょう。

批判的思考の重要性

情報の真偽を判断し、合理的な結論を導くためには、反対の意見を探ることが不可欠です。

実践方法

- 自分の意見を書き出す
- 反対の意見を探し、整理する
- 両方の意見を比較・検討する
- 最終的な結論を導く

国際社会では、異なる文化や価値観の人々との協力が求められます。互いの意見を尊重し、共に課題を解決する態度を身につけましょう。

▲文章サンプル集8
人の意見を信じる前に、
反対の意見を探してみよう
P189

2. 対照表

図書の内容・構成と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健全な身体を養うこと。

第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
1 コミュニケーションのために ウォームアップ1 ジェスチャーゲーム ウォームアップ2 質問して当てよう ウォームアップ3 他己紹介をしよう	からだと言葉を使ったコミュニケーションゲームの教材を通して、表現活動へ向けての心身の準備を整え、豊かな情操を培うとともに、個人の価値を尊重して、創造性、自主及び自律の精神を養うことができました。(第1号、2号)	P7-10
2 文章表現の基礎 ステップ1 表記の仕方 ステップ2 語句の用法と文のくぎり方 ステップ3 文章のリフォーム——推敲 ステップ4 わかりやすい説明の方法 ●ズームアップ1 レトリックの工夫 ○文章サンプル集1 ・文章上達のコツ(井上ひさし) ・考えるために書く(市川伸一)	文字表記の理解からわかりやすい文章の書き方まで、文章表現の基礎を習得することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操を培うことができました。(第1号)	P11-22
3 小論文 I ステップ1 意見を論理的に述べる ステップ2 セルフ・ディベート ステップ3 文章の「型」——構成の方法 ステップ4 構成ノート ステップ5 テーマ型小論文の実際 ●ズームアップ2 つなぐ言葉 ◎小論文テーマ例一覧	文章の「型」を各種のトレーニングを通して習得し、論理的文章を書くための基礎力を養成することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができました。また、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる題材を例文として取り上げ、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができました。(第1号、3号)	P23-38
4 声の表現 ステップ1 声を出そう——発声・発音 ステップ2 文字を声に変える ステップ3 スピーチの方法 ステップ4 声の発表会——「私のおススメBOOK」 ●ズームアップ3 他者に劈かれた声 竹内敏晴	音声・発音に始まり、音読・朗読やスピーチ・紹介など、声を発する具体的な場面を想定した学習を通して、音声言語による表現方法の基礎を学び、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操を培うとともに、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うことができました。また、音読教材として、自他の国のさまざまな文章を取り上げ、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができました。(第1号、2号、5号)	P39-50
5 人とつながる言葉 ステップ1 挨拶と人間関係 ステップ2 待遇表現——敬語によるコミュニケーション ステップ3 励ます言葉・受け入れる言葉 ○文章サンプル集2 ・言葉の持つ力(三浦綾子) ・聴くという行為(鷺田清一) ・ことばに力を取り戻すために(梨木香歩)	言語の性質や言葉と人間との関わりについて理解し、人間関係を維持・構築していこうとする認識を深めるなかで、個人の価値を尊重して、自主及び自律の精神を養うとともに、自他の敬愛と協力を重んずる態度を培うことができました。(第2号、3号)	P51-60

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
6 面接——社会との接点 ステップ1 自分を知る ステップ2 相手を知る——志望先の情報を集める ステップ3 模擬面接をする ●ズームアップ4 ジョハリの窓	自己を知り、場面を判断し、相手に配慮して、自分の意見を述べるという面接の学習を通して、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を培うことができるようにしました。(第2号, 3号)	p61-74
7 言葉遊びと創作 ステップ1 言葉遊び ステップ2 漢字パズル ステップ3 川柳を作る ステップ4 俳句・短歌を作る ステップ5 詩を作る ●ズームアップ5 ポップを作る ○文章サンプル集3 ・言いまづがい(糸井重里)	言語による表現の娯楽的・創作的な側面を理解し、関心を深めるなかで、幅広い知識と教養を身に付け、創造性を培うことができるようにしました。また、俳句・短歌・詩の創作を通して、生命を尊び、自然を大切にすることを培うことができるようにしました。(第1号, 3号, 4号)	P75-88
8 言葉を届ける ステップ1 電子メール ステップ2 電話とメモ ステップ3 手紙 ○文章サンプル集4 ・手紙について(高村薫) ・市子ちゃんの手紙(内海隆一郎) ・「若シ書ケルナラ僕ノ目ノ明イテイル内ニ今一便ヨコシテクレヌカ」正岡子規から夏目漱石へ(梯久美子)	電子メール、電話、手紙、連絡文などの作法を習得し体験するなかで、個人の価値を尊重して、自主及び自律の精神を養い、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を培うことができるようにしました。(第2号, 3号)	P89-100
9 プレゼンテーションの方法 ステップ1 プレゼンテーションの技術 ステップ2 プレゼンテーションの実際 ステップ3 スライドを使ったプレゼンテーション ●ズームアップ6 説明と説得の技術	これまで培ってきたコミュニケーションのさまざまな技術をプレゼンテーションにおいて実践することで、話し言葉と書き言葉、言語と非言語の違い、場や道具など重要性に気づき、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を培うことができるようにしました。(第1号, 2号)	P101-110
10 小論文Ⅱ ステップ1 要約の方法 ステップ2 課題文から問いを見つける ステップ3 課題文型小論文の実際 ステップ4 データを読む ステップ5 データ型小論文の実際 ステップ6 引用と情報源の明示 ●ズームアップ7 レポート作成の手順 ○文章サンプル集5 ・「人間と動物」という二分法との訣別(松沢哲郎) ・地球環境への処方(松井孝典)	要約の方法、そして、「課題文型」「データ型」の二つのタイプの小論文の理解と実践を通して、論理的な意見を述べる力を身に付け、真理を求める態度を養い、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を培うことができるようにしました。また、生命・環境を考える題材を例文として取り上げ、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を培うことができるようにしました。(第1号, 3号, 4号)	P111-130
11 話し合いの方法 ステップ1 プレインストーミング ステップ2 ディベートの方法 ステップ3 意思決定・合意形成のための会議 ●ズームアップ8 多数決と全員一致	目的に合わせた話し合いの形式や手法を学び、意思決定や合意形成のための会議の方法とルールを理解するなかで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養い、自他の敬愛と協力を重んずる態度を培うことができるようにしました。(第2号, 3号)	P131-138
12 エッセイを書く ステップ1 エッセイを読む ステップ2 エッセイを書く ステップ3 作品集作りと相互批評 ●ズームアップ9 投書のすずめ	文章を書き発表することの楽しさを体験することにより、文章表現への意欲を引き出し、文章が本というメディアに載せられて他者に読まれ、反応を引き起こすまでの全課程を体験することを通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を培うことができるようにしました。(第2号)	P139-148
13 物語を作る ステップ1 二次創作を楽しむ ステップ2 絵から物語を作る ステップ3 テーマから物語を作る ○文章サンプル集6 ・「物語」を考え続ける(鴻上尚史) ・創作の経路(星新一)	手順をふめば誰でも物語が作れるようになることを体験して、創作への表現意欲を引き出せるようにし、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるようにしました。(第2号)	P149-158

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<p>14 メディア・リテラシー ステップ1 メディアの特性を知る ステップ2 広告というメディアを読む ステップ3 情報を編集する ●ズームアップ10 情報の海を航海する —メディア・リテラシーの課題 ○文章サンプル集7 ・たったひとつの「真実」なんてない (森達也)</p>	<p>身のまわりのさまざまなメディアについて知り、それぞれの特性をふまえた情報発信とその社会的意味について認識を深めるなかで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。(第1号)</p>	P159-170
<p>15 社会にはたらきかける表現 ステップ1 地域を知る —インタビュー ステップ2 地域と関わる —企画を立てる ステップ3 地域とつながる表現活動 —イベントの実行へ ●ズームアップ11 社会にはたらきかける表現</p>	<p>これまで教室で学んだ表現学習の総まとめとして、その方法と成果を学校外で実践し、社会の人々と交流するなかで、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、主体的に社会の形成に参画して、その発展に寄与する態度を培うことができるようにしました。(第2号、3号)</p>	P171-178
<p>☆ツールボックス 敬語 説得のための五つの論法 アイデアの出し方 目的に合わせた話し合いの形態 非言語コミュニケーション 本とコンピュータ ○文章サンプル集8 ・言葉—自己表現の強い武器(高樹のぶ子) ・一発芸としての俳句(千野帽子) ・人の意見を信じる前に、反対の意見を探してみよう(香山リカ) ・盗まれた?靴(井上史雄) ・いつまでもガキの感性をもって(ビートたけし) ・住民は常套句がお好き(天野祐吉)</p>	<p>正課とは別に、表現のための基本となる方法や事柄、参考文例などを整理した「ツールボックス」のページを設けて、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を育むことができるようにしました。また、平和について考える文章例を取り上げ、国際社会の平和に寄与する態度を養うことができるようにしました。(第1号、2号、5号)</p>	P179-192

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条に示す高等学校教育の目標を達成するため、以下の点について編修上の工夫をしました。

- ◎中学校までの学習を更に発展拡充させ、豊かな人間性や創造性をはぐくみ、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うとともに、高い教養、専門的な知識、技術及び技能を習得することができるよう、多種多様な教材を厳選して構成しました。(学校教育法第五十一条 一、二)
- ◎言語活動によるコミュニケーションを通して自分というものを知り、個性の確立に向かって努力し、社会についての広く深い理解と健全な批判力と社会の発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮しました。(同三)
- ◎より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表示の工夫により、学びやすい紙面作りに配慮しました。(同二)
- ◎教科書の印刷には再生紙と植物油インクを使用し、地球環境への影響を少なくするよう配慮しました。(同三)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-14	高等学校	国語科	国語表現	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	国表 306	国語表現 改訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

学習指導要領の趣旨にもとづき、次の諸点に留意してこの教科書を編修しました。

- 1 「国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成する」ために、今日の高校生徒の現状をふまえて、国語表現の諸活動に必要とされる観点・知識と方法を精選し、教材化しました。教材化にあたっては、具体的な学習活動の中で表現能力を習得できるよう、体験的な教材を多様に配しました。
- 2 「伝え合う力を高める」ために、話し言葉の領域のみならず、文章表現の領域においても、送り手と受け手との双方向のコミュニケーションの状況を設定した学習活動を教材化することによって、表現の目的や場（人間関係など）への関心をうながすとともに、学習結果に関する自己評価・相互評価を学習活動の中に積極的に導入するよう配慮しました。
- 3 「思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨く」ために、事例によって理解を深め、課題によって創意工夫することを通じて、自分の思考力と感受性を高めていけるよう、教材編成に配慮しました。
- 4 「進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる」ために、学習の動機づけにおいて学習内容の社会的な意義を明らかにするよう努め、学習活動が教室の中にとどまらず、自己の人生と社会生活の充実へと接続・展開していけるよう学習内容を発展的に構成しました。

教科書の構成

具体的な学習活動をイメージし、わかりやすく表現の方法が学べるよう構成を工夫しました。また、自学自習にも対応できるよう、一つの学習内容について基礎となる考え方・方法の解説から実践的な課題までを、原則的に見開きで展開しました。

- ①全15章で構成し、国語表現の**基礎から応用**まで、具体的な活動を通して確実に学べる内容を厳選して教材化しました。
- ②各ステップは、自ら**ワークを通して表現能力を体得**できるよう、上段でワークの要領や手順を示し、下段

でワークを支援するための学習のポイントや資料、学んだ方法を実践する課題などを示しました。

- ③11箇所に「ズームアップ」のページを配し、学んだ内容を深めるための解説や資料を用意しました。
- ④8箇所に「文章サンプル集」のページを設け、表現学習を補完する、含蓄に富んだ、多様な文章を採録しました。
- ⑤巻末に、国語表現についての理解をさらに深める学習が総合的に行えるよう、便覧的に利用できる「ツールボックス」のページを設け、必要に応じて参照・活用できるようにしました。

ステップ構成

上段

ワークの要領と手順

1 声の表現

あなたは、歌のみんなに聞こえる声で話せようか、ちょっとお話を場面になど、声の表現が上手になるには、声はよくないはずだ、言葉遣いも手がかかる。これを練習して工夫して、聞きやすい声を出せることができる。声を出すこと、わかりやすい話し方の基本を学んで、話し言葉を自分でつくりよう。

呼吸法と姿勢

まず、きつと肩を出し、背筋をまっすぐに立てよう。下を向いていたり、姿勢が悪かったりする声は聞きにくい。背筋をまっすぐに立て、からだ全体を使って呼吸する。呼吸を止まらせないで、その声を聞いて、リラックスして呼吸を続けよう。

次に、声を出すための呼吸がどうあるかを聞いて、口は閉じたま、鼻から息を出して呼吸を続けよう。そのとき、口は閉じたま、鼻から息を出して呼吸を続けよう。そのとき、口は閉じたま、鼻から息を出して呼吸を続けよう。

息を出した後は、息を吐き出すように、口を閉じたま、鼻から息を出して呼吸を続けよう。息を吐き出すように、口を閉じたま、鼻から息を出して呼吸を続けよう。

2 声を出そう——発声・発音

呼吸法と姿勢

息を出した後は、息を吐き出すように、口を閉じたま、鼻から息を出して呼吸を続けよう。息を吐き出すように、口を閉じたま、鼻から息を出して呼吸を続けよう。

息を出した後は、息を吐き出すように、口を閉じたま、鼻から息を出して呼吸を続けよう。息を吐き出すように、口を閉じたま、鼻から息を出して呼吸を続けよう。

下段

ワークを支援するための学習の
ポイントや資料、学んだ方法を
実践する課題

▲4章ステップ1 声を出そう——発声・発音 P40-41

ズームアップ

6 前後

ズームアップ4
ジョハリの窓

ジョハリの窓は、自己開示の程度によって、自分の内面と外面とが一致している状態と、一致していない状態とに分かれます。自己開示の程度が高くなるほど、自分の内面と外面とが一致してきます。

① 自己開示の程度が高くなるほど、自分の内面と外面とが一致してきます。

② 自己開示の程度が高くなるほど、自分の内面と外面とが一致してきます。

③ 自己開示の程度が高くなるほど、自分の内面と外面とが一致してきます。

④ 自己開示の程度が高くなるほど、自分の内面と外面とが一致してきます。

8 話し合ふ方法

多数決と全員一致

話し合ふ方法は、多数決と全員一致に分かれます。多数決は、話し合ふ人数の過半数が賛成したときに決まります。全員一致は、話し合ふ全員が賛成したときに決まります。

① 話し合ふ方法は、多数決と全員一致に分かれます。

② 話し合ふ方法は、多数決と全員一致に分かれます。

③ 話し合ふ方法は、多数決と全員一致に分かれます。

④ 話し合ふ方法は、多数決と全員一致に分かれます。

▲ズームアップ4
ジョハリの窓
P74

▲ズームアップ8
多数決と全員一致
P138

文章サンプル集

6 物語を作る

文章サンプル集6
『物語』を考え続ける

『物語』を考え続けるというテーマで、様々な文章が採録されています。物語の構成や表現方法について、詳しく解説されています。

① 『物語』を考え続けるというテーマで、様々な文章が採録されています。

② 『物語』を考え続けるというテーマで、様々な文章が採録されています。

③ 『物語』を考え続けるというテーマで、様々な文章が採録されています。

④ 『物語』を考え続けるというテーマで、様々な文章が採録されています。

4 手紙について

文章サンプル集4
手紙について

手紙についてというテーマで、様々な文章が採録されています。手紙の書き方や表現方法について、詳しく解説されています。

① 手紙についてというテーマで、様々な文章が採録されています。

② 手紙についてというテーマで、様々な文章が採録されています。

③ 手紙についてというテーマで、様々な文章が採録されています。

④ 手紙についてというテーマで、様々な文章が採録されています。

▲文章サンプル集6
『物語』を考え続ける
P156

▲文章サンプル集4
「手紙について」
P98

必要に応じて
参照・活用できる
便覧的教材



▲ 「アイデアの出し方」
「目的に合わせた話し合いの形態」
P182



▲ 「説得のための五つの論法」
P181



▲ 「敬語」 P180

2. 対照表

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
1 コミュニケーションのために			
ウォームアップ1 ジェスチャーゲーム	(1)ア (2)ア	P8	
ウォームアップ2 質問して当てよう	(1)ア (2)ア	P9	
ウォームアップ3 他己紹介をしよう	(1)ア (2)ア	P10	
2 文章表現の基礎			
ステップ1 表記の仕方	(1)カ (2)ウ	P12-13	
ステップ2 語句の用法と文のくぎり方	(1)カ (2)ウ	P14-15	
ステップ3 文章のリフォーム——推敲	(1)ウオカ (2)ウ	P16-17	
ステップ4 わかりやすい説明の方法	(1)エ (2)エ	P18-19	
●ズームアップ1 レトリックの工夫	(1)アカ (2)ウ	P20	
○文章サンプル集1 ・文章上達のコツ (井上ひさし) ・考えるために書く (市川伸一)	(1)アオ (2)アウ	P21-22	
3 小論文Ⅰ			
ステップ1 意見を論理的に述べる	(1)ウエ (2)ウ	P24-27	
ステップ2 セルフ・ディベート	(1)アウエ (2)ウ	P28-29	
ステップ3 文章の「型」——構成の方法	(1)ウ (2)ウ	P30-31	
ステップ4 構成ノート	(1)ウ (2)ウ	P32-33	
ステップ5 テーマ型小論文の実際	(1)ウ (2)ウ	P34-35	
●ズームアップ2 つなぐ言葉	(1)カ (2)ウ	P36-37	
◎小論文テーマ例一覧	(1)ウ (2)ウ	P38	
4 声の表現			
ステップ1 声を出そう——発声・発音	(1)エ (2)エ	P40-41	
ステップ2 文字を声に変える	(1)エ (2)エ	P42-45	
ステップ3 スピーチの方法	(1)エ (2)エ	P46-47	
ステップ4 声の発表会——「私のおススメBOOK」	(1)エオ (2)アエ	P48-49	
●ズームアップ3 他者に劈かれた声 竹内敏晴	(1)ア (2)アウ	P50	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
5 人とつながる言葉			
ステップ1 挨拶と人間関係	(1)エ (2)エ	P52-53	
ステップ2 待遇表現——敬語によるコミュニケーション	(1)エ (2)エ	P54-55	
ステップ3 励ます言葉・受け入れる言葉	(1)エ (2)エ	P56-57	
○文章サンプル集2 ・言葉の持つ力(三浦綾子) ・聴くという行為(鷺田清一) ・ことばに力を取り戻すために(梨木香歩)	(1)アオ (2)アウ	P58-60	
6 面接——社会との接点			
ステップ1 自分を知る	(1)アイ (2)ア	p62-65	
ステップ2 相手を知る——志望先の情報を集める	(1)アイ (2)ア	p66-69	
ステップ3 模擬面接をする	(1)アイ (2)ア	p70-73	
●ズームアップ4 ジョハリの窓	(1)ア (2)ア	p74	
7 言葉遊びと創作			
ステップ1 言葉遊び	(1)カ (2)イ	P76-77	
ステップ2 漢字パズル	(1)カ (2)オ	P78-79	
ステップ3 川柳を作る	(1)ウ (2)イ	P80-81	
ステップ4 俳句・短歌を作る	(1)ウ (2)イ	P82-83	
ステップ5 詩を作る	(1)ウ (2)イ	P84-85	
●ズームアップ5 ポップを作る	(1)ウエ (2)イオ	P86	
○文章サンプル集3 ・言いまわがい(糸井重里)	(1)アオ (2)アイウ	P87-88	
8 言葉を届ける			
ステップ1 電子メール	(1)エ (2)エ	P90-91	
ステップ2 電話とメモ	(1)エ (2)エ	P92-93	
ステップ3 手紙	(1)エ (2)エ	P94-97	
○文章サンプル集4 ・手紙について(高村薫) ・市子ちゃんの手紙(内海隆一郎) ・「若シ書ケルナラ僕ノ目ノ明イテイル内二今一便ヨコシテクレヌカ」 正岡子規から夏目漱石へ(梯久美子)	(1)アオ (2)アウ	P98-100	
9 プレゼンテーションの方法			
ステップ1 プレゼンテーションの技術	(1)アエ (2)アエオ	P102-103	
ステップ2 プレゼンテーションの実際	(1)アエ (2)アエ	P104-107	
ステップ3 スライドを使ったプレゼンテーション	(1)アエ (2)アエオ	P108-109	
●ズームアップ6 説明と説得の技術	(1)ア (2)ウ	P110	
10 小論文Ⅱ			
ステップ1 要約の方法	(1)ウ (2)ウ	P112-113	
ステップ2 課題文から問いを見つける	(1)ウ (2)ウ	P114-115	
ステップ3 課題文型小論文の実際	(1)ウ (2)ウ	P116-119	
ステップ4 データを読む	(1)アウ (2)ウ	P120-121	
ステップ5 データ型小論文の実際	(1)アウ (2)ウ	P122-123	
ステップ6 引用と情報源の明示	(1)アウ (2)ウ	P124-125	
●ズームアップ7 レポート作成の手順	(1)アウ (2)ウ	P126	
○文章サンプル集5 ・「人間と動物」という二分法との訣別(松沢哲郎) ・地球環境への処方(松井孝典)	(1)アオ (2)アウ	P127-130	

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
11 話し合いの方法			
ステップ1 ブレーンストーミング	(1)イ (2)ア	P132-133	
ステップ2 ディベートの方法	(1)イ (2)ア	P134-135	
ステップ3 意思決定・合意形成のための会議	(1)イ (2)ア	P136-137	
●ズームアップ8 多数決と全員一致	(1)アイ (2)アウ	P138	
12 エッセイを書く			
ステップ1 エッセイを読む	(1)ア (2)ア	P140-141	
ステップ2 エッセイを書く	(1)アウ (2)アイ	P142-145	
ステップ3 作品集作りと相互批評	(1)ウオ (2)イオ	P146-147	
●ズームアップ9 投書のすすめ	(1)ウ (2)イ	P148	
13 物語を作る			
ステップ1 二次創作を楽しむ	(1)ウ (2)イ	P150-151	
ステップ2 絵から物語を作る	(1)ウ (2)イ	P152-153	
ステップ3 テーマから物語を作る	(1)ウ (2)イ	P154-155	
○文章サンプル集6 ・「物語」を考え続ける（鴻上尚史） ・創作の経路（星新一）	(1)アオ (2)アウ	P156-158	
14 メディア・リテラシー			
ステップ1 メディアの特性を知る	(1)アエ (2)エ	P160-161	
ステップ2 広告というメディアを読む	(1)アオ (2)エ	P162-163	
ステップ3 情報を編集する	(1)エ (2)オ	P164-165	
●ズームアップ10 情報の海を航海する——メディア・リテラシーの課題	(1)ア (2)ウ	P166-168	
○文章サンプル集7 ・たったひとつの「真実」なんてない（森達也）	(1)アオ (2)アウ	P169-170	
15 社会にはたらきかける表現			
ステップ1 地域を知る——インタビュー	(1)アイウエ (2)アウエオ	P172-173	
ステップ2 地域と関わる——企画を立てる	(1)アイウエ (2)アウエオ	P174-175	
ステップ3 地域とつながる表現活動——イベントの実行へ	(1)アイウエ (2)アウエオ	P176-177	
●ズームアップ11 社会にはたらきかける表現	(1)ア (2)ウ	P178	
☆ツールボックス			
敬語	(1)エ (2)ウ	P180-181	
説得のための五つの論法	(1)アオ (2)ウ	P181	
アイデアの出し方	(1)アオ (2)ウ	P182	
目的に合わせた話し合いの形態	(1)アオ (2)ウ	P182-183	
非言語コミュニケーション	(1)アオ (2)ウ	P183-184	
本とコンピュータ	(1)アオ (2)ウ	P185	
○文章サンプル集8 ・言葉——自己表現の強い武器（高樹のぶ子） ・一発芸としての俳句（千野帽子） ・人の意見を信じる前に、反対の意見を探してみよう（香山リカ） ・盗まれた？靴（井上史雄） ・いつまでもガキの感性をもって（ビートたけし） ・住民は常套句がお好き（天野祐吉）	(1)アオ (2)アウ	P186-192	